

平成 26 年度 第 1 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 26 年 4 月 11 日 午後 5 時 23 分から

場所 宍粟市役所 401 会議室

## 第1回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### 1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成26年4月11日（金） 午後5時23分 ～ 午後6時10分  
兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6  
宍粟市役所401会議室

### 2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

杉本健三	委員長	田中真人	委員
弓削ルリコ	委員	金本一二	委員
西岡章寿	委員(教育長)		

事務局

岡崎悦也	教育部長	楫谷米男	教育部次長
澤田志保	教育総務課長	志水良和	学校教育課長
田村純司	こども未来課長	田路正幸	社会教育課長
清水敬司	給食センター所長	橋本 徹	教育総務課副課長
山本哲史	学校教育課副課長	世良繁信	学校教育課副課長兼学校指導係長
中尾善弘	こども未来課副課長	福井由貴	こども未来課副課長兼こども育成係長
牛谷宗明	社会教育課副課長		

### 3 開会

杉本教育委員長が開会した。

### 4 会議の成立宣言

出席者数5名により、杉本教育委員長が会議の成立を宣言した。

### 5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、杉本委員長の指名により、次のとおり決定された。

田中委員

### 6 前回会議録の承認

第11回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における議事8件及び協議事項、報告事項の会議録について、澤田教育総務課長が説明し、承認された。

## 7 教育長報告

5点について西岡教育長が報告した。

### 平成26年度教育委員会・学校園所の組織、人事について

平成26年4月1日付人事異動により、総勢313名の体制でスタートしていくこと。

### 平成26年度主要事業について

教育総務課では、学校規模適正化の推進、山崎西小学校の校舎改修・プール改築工事、波賀小学校の校舎・プール改修工事、千種中学校の施設改修・耐震化工事、防災機能強化事業として屋内運動場つり天井落下防止対策に取り組むこと。

学校教育課では、いじめ防止対策推進事業、特別支援教育総合サポート事業、しそく学校生き生きプロジェクト事業、しーたんチャレンジ事業に取り組むこと。

こども未来課では、千種認定こども園の開設に向けた取組み、（仮称）千種認定こども園建設工事の設計監理業務・建設工事の推進、戸原認定こども園建設工事設計業務の発注に取り組むこと。

社会教育課では、家原遺跡公園の整備事業、図書館管理運営事業と読書活動の推進、千種認定こども園と併設する千種図書館の建設、スポーツ立市に向けた取組み等を予定している。

学校給食センターでは、地産地消の拡大ということで食材供給体制整備事業、給食費の一般会計化の検討をすすめていくこと。以上が主な事業である。

### 平成26年度市内学校園所の入学入園の状況について（26.4.1現在）

中学生新入学が419人、小学校が317人、幼稚園年少が156人である。幼小中合わせて児童合計3,674人で、公私立合わせて保育所が836人となっている。

### 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

千種中学校区幼保一元化は3月24日に第7回協議会を開催し、こども園施設の平面の最終確認を行っていただいている。三土中学校の閉校に係る協議状況は、3月26日に三土中事務組合教育委員会、3月28日に三土中議会を開催、26年度予算を決定いただいた。

今後閉校に向けての住民説明会を三河地区は4月18日、土万地区は4月23日に開催し、閉校にむけて跡地の活用、閉校記念事業についての検討をいただく予定である。

### その他

第9回さつきマラソン大会を4月20日に山崎スポーツセンターで開催する。今回参加者は2,582人、またボランティアスタッフは約600人で、ランナーに安心して走ってもらうおもてなしをする予定である。

## 8 議事

### 第1号議案 宍粟市指定有形文化財の指定について

宍粟市文化財審議委員会 会長から、平成26年3月19日付宍教社第1711号で諮問した絹本墨画羅

漢像の市指定文化財指定について答申を受けた。本来、羅漢像は16羅漢といい16副あるものだが、そのうち第10と第11であり、保存状況が良好な絵画である。「羅漢像」は水墨画ながら重厚で華やかで優れた作域を示し、さまざまな16羅漢像の図像系統が複雑に組み合わせられて再構成される中世の事象がよく示されており、日本美術史的にも貴重であることを、田路社会教育課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし決定された。

## 9 報告事項

### (1) 平成26年度学校園所組織について

資料1「平成26年4月1日付における宍粟市の学校学校園所長等一覧表」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

### (2) 平成26年度 教育委員会事務局組織について

資料2「平成26年4月1日付における宍粟市教育委員会組織図、宍粟市教育委員会事務局事務分掌」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

### (3) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料3「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、平成26年2月17日開催の教育委員会以降、動きがあった事項について、教育総務課 澤田課長が報告した。

## 委員の主な意見及び事務局の説明

(田中委員)

各学校区で協議会や説明会が開催されているが、適正化推進の上で、何か進めにくい点、つまづいている点があったら聞かせていただきたい。

(教育部長)

地域の委員会の協議により、一定の方向を見据えてはいる。事務局としては十分な説明をしているつもりであるが、地域住民・保護者にどこまで周知され、行き届いているかが今後の課題と感じている。学校規模適正化推進への理解を深めるため、さらに説明が必要という地域もあり克服すべき課題はそこにあると考えている。また、千種の幼保一元化に関し、前回教育委員会で意見をいただいた千種杉の子保育園への職員の派遣は、管理職1人だけで無く他の先生の派遣についても、杉の子保育園と協議し、来年度の認定こども園へのスムーズな引継ぎと、幼稚園における幼児教育をうまく認定こども園へ活かすという2つの目的から、昨日から、研修を兼ねて杉の子保育園保育士に千種幼稚園で勤務いただき年少組の複数担任制をとるなどしており、スムーズな移行や連携を心がけている。工事についても、認定こども園計画地の川側への土砂搬入を4月中始め、全体の施設整備を年度内に完了予定である。

(金本委員)

千種認定こども園に関して今年一年かけて具体化されていくが、PTA活動に関してはどういう方向に考えておられるか。また、私立で設立ということになるが、連合PTAに入っていくという方向になるのか。

(教育部次長)

幼保一元化 千種地区協議会 総務部会においてP T A組織のことが協議されている。そのなかで、千種杉の子保育園保護者会と千種幼稚園P T Aとのすりあわせをしており検討中であり、26年度も継続して協議いただく予定であるが、協議の中で、連合P T Aに入っていくという意見も出ている。今年度には千種連合P T Aの会則変更と合わせ、宍粟市連合P T Aの組織に入っていくよう協議中である。

(弓削委員)

ある地域だが、学校規模のメリットデメリットがもうひとつ分からないとの意見も聞く。そういう保護者もあるということもお伝えしたい。

(教育部長)

関係者や地域も含めて、丁寧に説明し、理解を求めていく。その労を惜しまないというのが事務局の姿勢だと考える。そのように努めていく。

#### (4) 平成26年度 新規事業等概要について

資料4「しろう学校生き活きプロジェクト事業実施要綱」「児童生徒支援スーパーバイザー」「しーたんチャレンジ」により、学校教育課 志水課長が報告した。

資料4「宍粟市芸術文化奨励金事業」により、社会教育課 田路課長が報告した。

資料4「教育施設整備等計画」により、榎谷次長が報告した。

#### 委員の主な意見及び事務局の説明

(委員長)

宍粟市芸術文化奨励金事業について趣旨は理解できるが、交付対象者、対象分野などがあいまいな気がする。例えば、公的機関又は公共的団体等が主催する全国規模以上のコンクール、コンクール等において優秀な成績というのも抽象的である。また、交付対象者の選定、決定の方法なども説明してほしい。まだ詳細が決まっていなければ、明確で誰もが納得できるようなかたちで実施され、みんなが芸術分野に取り組もうという気持ちにつながるよう実施いただきたい。

(社会教育課長)

公的機関、全国的な芸術文化団体が主催するコンクールを想定しているが、交付を希望する方の申請に基づく補助金交付を予定している。申請書類には、その内容が証明できる開催要項、文書を添付いただき審査のうえ交付する。認定の方法等の詳細は今後検討していくが、それぞれの分野に応じた認定方法を早急に考えたい。

(金本委員)

児童生徒支援スーパーバイザーについて3点お聞きしたい。1、学校からの要請をした場合でも出向くことができるのか。2、不登校児への制度活用の予定はあるか。3、各中学校区の民生委員の主任児童委員との連携は検討されているか。主任児童委員は中学校区ごとにおられ、不登校とか問題事象の把握をしており、そういう方との連携をしていただくとわかりやすいと思う。

(学校教育課長)

1、担当は、まず学校へ出向いて実態を知ることが予定している。年度当初の4月5月はもちろん、年間を通じても行いたいと考えており、現場へ出向く回数は増えると思う。2、不登校の理

由もそれぞれの様々な理由がある。人間関係がうまく結びづらいようなケース、発達障害的な特性ある場合への相談にのるケースなども予想している。学校の指導体制等への支援もしていく。3、各地域の民生児童委員との連携はもとより、医療関係、県関係機関、市健康福祉部等との連携、コーディネートのような役割もできると期待している。

#### (5) その他

資料5「平成26年度宍粟市学校園児童生徒数一覧表」「平成26年度宍粟市保育所入所児童数一覧」「平成26年度あずかり保育・学童保育入所申込児童数」「平成26年度学校給食実施計画」「平成26+年度宍粟市学校給食予定調理数」について、教育総務課 澤田課長が資料添付状況を報告した。

#### 10 その他

##### 次回会議の招集について

平成26年6月3日（火）午前9時30分から、第2回宍粟市教育委員会を開催すると決定した。

#### 11 閉会

田中委員が閉会した。

以上